

愛知スキー協通信 No.373

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2026年3月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL.052-201-4801(Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：サザンクロス

友達誘ってワイワイ楽しく

東海ブロックスノーフェスティバル
in 平湯 2026/1/23～25

昨今の物価上昇はすさまじく、宿から宿泊料の値上げを提案され、やむなしということになりました。その分どこで節約するか。実行委員や指導員への謝礼は減らしても、チラシ印刷などは必要な事は減らせない。宿泊料の値上げは節約ではカバー出来ず、参加費をアップし、この参加費に見合った楽しい内容にしようと実行委員会で相談しました。募集定員は150名、結果は日帰りを含めて昨年と同程度の165名の参加がありみんなホッとしました。

もう一つ問題が。病気で参加できなくなったスタッフがあり実行に支障をきたしそうなことでした。会員に助けを求めたり、現役員で頑張りましたが、スノーシューの参加者から指摘を受けた点もあり、今後の課題となりました。

昨年からの特徴は子ども達が自分が楽しかったからと友達を誘ってくれていることです。会員が孫を連れて参加し、その孫が友達を誘い、その友達が家族で参加してくれました。スキーの楽しさ、新しいことが出来るようになったこと、上手になったことの喜び、世界が広がった喜びが伝わってきます。指導員や準備に関わった実行委員の喜びでもあります。

週始めから「大雪のため高速道路が不通になるかも」とか、「不要不急の外出は控えるように」との報道があり、何人かの方から実施するかどうかの問合せがありました。バス会社は飛騨方面は大丈夫、高速がダメなら一般道でとのことで皆さんには実施しますとお答えしました。1/23(金)夕方名古屋を出発し、白鳥あたりで降雪が結構ありましたが、そこを過ぎると降ってなくて道路の除雪はバッチリ。予定どおり 10 時には宿に着くことが出来、自家用車の方々も無事に到着。この日の集合に支障ありませんでした。

1/24(土)、1/25(日)とも雪の中、予定していた7つのコースと競技会とも実施できました。

1/24 は高速道路が不通でしたが、1/25 は復旧し、帰る事が出来ました。行事無事終了。(浅井)



各コース報告

A:スキー教室 担当:角谷

スキー教室では、当初4クラスを 1 クラス 2 名体制で観る予定をしていましたが、初心者の方、子供や経験者の大人、子供と多様化していたため、現地でクラス分けを変更し対応することになり、指導員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。スキー教室では、大雪の降る中子供たちは元気にスキーを楽しんでいるように見えました。大人クラスでも、教えられた動きを一生懸命行い、最初の滑りに比べ、全員の動きがよくなりました。基礎練習だけでなく、ポールにも入り皆さん楽しそうに滑っていました。こちらからだけでなく、生徒さんからも滑りについて色々な質問を受けながら楽しく教室ができたと思います。悪天候のため、下のゲレンデのみの講習になり、頂上に行き景色を見たり初心者の方にもう少し楽しんでいただけるように、手厚くサポートが出来ればよかったなと反省するところもありました。天候が悪い中、指導員の皆様のおかげで無事にスキー教室が出来、生徒さ



ん達にも楽しんでいただけたと思います。

B:スノーボード教室 担当:木村

スノボ教室は男子2名、女子2名を、指導員2人で見る形でした。

本人から、スノボ歴や今シーズンの回数やできる事を聞いた上で、一度滑ってもらってから、グループ分けをしました。左右のターンができるグループは、いろいろなバリエーション練習から、安定したターンとカービング要素に繋がるように。初心者グループは左右の連続ターンができる様に。それぞれ、はっきりと目に見える程のレベルアップが見られて、充実した講習になったかと思います。

C:スノーシューコース 担当:神戸

24日(土)23名参加

朝から雪が少し降り寒い日でした。9:30に釜トンネルで登山届を出した後、釜トンネルと上高地トンネルを抜けた後で2班に分ける予定でしたが、早く準備ができた人を先に大正池のトイレまで先に行ってもらいました。今回は雪が多く例年ほど道の除雪が十分ではなかった上に23名で行動したので、思ったほど進めず途中で引き返して大正池で風を避けながら昼食を取り帰路につきました。

参加者から「上高地は、もう数え切れないくらい通過したり、うろうろしてたんですけど、こんな冬に、白と黒の濃淡の世界の雪景色の上高地を見たのを初めてで感動しました。」

25日(日)22名参加

曇りで寒い日でした。9時過ぎに予定の五郎滝入口に到着。そこから白樺の径を通りネイチャープラザノ瀬に着きました。その後あざみ池まで歩いて凍ったあざみ池をゆっくり歩いてから昼食。その後は広い一ノ瀬の誰も踏んでいない雪の上をそれぞれ歩きラッセルを経験しました。帰りは雪の積もった車道を歩いて帰りました。



参加者から「凍った池の上を歩いたり、ふわふわの雪の上を歩いたり、いろんな経験をさせてもらいました。あとラッセルという言葉も覚えました。」

問題点:①無線機4台のうち2台しか使えず、協力してくれた人に無線機を渡せなかった。②スノーシューを付ける手伝いに少し時間が掛かった。③例年より雪と参加者が多くていろいろなところで少しずつ時間が掛かってしまっていた。

D:山スキー ゆったりコース 担当:浅野

1日目 1/24(土)平湯峠越えコース 参加者6名

状況:寒波が来ており雪の中を宿からバスで平湯温泉スキー場へ。ビーコンチェックを行って出発した。ネイチャースキーチームと同じコースだが、登りは山スキーチームが先行した。初めはスノーシューのトレースがあったので、トレースを辿ったが、途中から消え、雪の道路を交代でラッセルしながら登った。平湯峠に着くと雪交じりの強い西風が吹き付けてきたので、手前の木の陰で休憩し軽い昼食をとった。ネイチャースキーチームが追い付き、一緒に西側に滑り始めたが、やはりラッセルをしながらの滑走となった。それはネイチャースキーの方が得意とのことで、先行してもらい、その後を滑らせてもらった。新雪だが、パウダーを自由に滑るというわけにはいかない山スキーとなった。バスで宿へ。



2日目 1/25(日)久手牧場コース 参加者4名

状況:車で久手牧場入口駐車場へ。今日も深い新雪の中を猫岳コースが先行したトレースを辿ったが、牧場横の急斜面でのシール登高に苦労した。真ん中のゲートからは尾根コースを登り久手牧場の最上部に着いた。シールを外して深雪のゲレンデを滑り始めたが、新雪が深すぎてスキー板が潜ってしまう。真下に滑るか他の人のトレースを滑らないと落ちていけない。新雪だが少し重い。パウダーを快適に滑るというわけにはいかなかった。だが猫岳コースのK君の2回目の滑走を見ていたら、真っ直ぐ華麗に滑り降りてきた。

シールを付けて登り返し、軽い昼食後、登山ルートを滑ることにした。安全第一で、途中からラッセル・ショートカットしながら林道を下りた。行動中ずっと雪の一日で、宿の温泉が気持ち良かった。

D: 山スキー 健脚コース 1/25(日) 担当: 田口

山スキー健脚コースは昨年に続き猫岳を目指すもので、下部の久手牧場を通り第3尾根の樹林帯を登って行くコースで、昨年は登頂できたコースです。今年は大雪により高速道路も止まるという状況での山行となり、果たしてどこまで登れるか懸念されました。

こんな日に山に入る人なんているのかなと思いながら登山口に着くと、ずらり駐車車両の列にびっくり。先行者から「トレース作っておきますから使って下さい」とのお言葉も頂き一安心。

登山口から脛まである深いトレースが伸びており、林道を進みやがて牧場内に入り急斜面ではジグを切りながら高度を上げていきます。雪は入山時から降り続き、辺りは白と黒の墨絵のような雪景色が広がり、静寂に包まれ、一本のトレースだけが上へと刻まれています。やがて無木立の斜面がある1650m地点に到着。このコースで一番遊びやすい斜面が広がっていますので、登行より滑り重視に変更となります。1本滑ることに決定。早速シールを剥がしてノートラックの斜面に飛び込みますが、ズブズブと板は沈みやがて停止、重い、重すぎる。なんとか滑りだすとスピードは出ませんが一応フェイスショット。ドカ雪直後は雪が締まってなくてこうなるようです。それでも元気な人は登り返して2本目。高齢者3人は1本で満足です。

後から出発したゆったり組とも合流し天候も回復しないため、ここから下山となりました。下山では林道を交代でラッセルし、棘を避けながらの滑走もあったりし、ワイワイと下山することができました。

今回健脚コースへの参加は1名でしたが、滑りの上手い方でパウダースノーでは無かったのが残念ですが、深雪滑りとラッセルを体験してもらえたかと思います。



E: ネイチャースキー 担当: 正崎



1/24(土) 平湯キャンプ場をガイドさんの自然の説明を聞きながら散策しました。キャンプ場は人の気配も感じることなく、静寂な世界を感じるととても良い散策コースでした。152号線を渡り、平湯峠の登り口(林道)からは昨日降った雪が積もりラッセルを伴う登りになりました。先行する山スキーのパーティーのトレースを利用して登りだしましたが、所々林道からショートカットされており、林道から外れていたため、トレースが利用できずラッセルをする事に、6名のパーティーで交代でラッセルをしていたので、ゆっくり立ち止まって自然観察はできませんでしたが、雪の

降る中気持ちのいい自然を感じながら登っていました。平湯峠では昼食をとる時間も少なく山スキーのパーティーと共に反対側を下っていきました。下りも雪が深く滑るというよりは、先頭はラッセル他はトレースをすり足で歩くような感じになり気持ちよく滑降できず少し残念でしたが、自然の中で体を動かして気持ちはとても晴れました。

1/25(日) 乗鞍高原は乗鞍スノーリゾートのリフトに乗り三本滝から林道を下るルート。8名のパーティーで下りました。昨日よりは若干天気も良くなり、明るい森の中をゆっくり滑り降りているような感覚でした。風が吹くと木の枝に積もった雪が舞い、回りが真っ白にホワイトアウトになり、その後は幻想的な光景が時折姿を現す、とても自然を感じる時間でした。山スキーでは滑る事が楽しいので、このような感覚はあまり感じられません。雪が深かったこともあり牛留池にて終了。何度か乗鞍ネイチャースキーに参加しましたが、例年雪が少なかったが、今年はとても雪が多かった。

参加者から「たまに風が吹いて、木に乗った雪がパーツと散って、すごい時は目の前が全く見えなくなるぐらいになりました。初めての体験で良かったです」

誰でも参加出来ます。クラブ外の参加大歓迎！！

直滑降クラブ

さよならスキー マイアスキー場、(開田高原)宿:ペンション「京こじま」0264・44・2780

3月21日(土)朝発～22日(日) 1泊 約17000円 担当:永田 電話:090・8862・7364

深雪スキークラブ

3/26(木)夜発～29(日)2.5泊 志賀高原スキー場 宿:チウーホテル(一ノ瀬ゲレンデ)

春スキーを満喫 担当:戸川

東海ブロック 2026 シーズン行事

① 東海ブロック技術部会 3月28日(土)・29日(日) 場所:野麦峠スキー場
指導員の方、または技術を高めたいという熱意のある方はぜひ参加してください。初級・中級の指導員研修にもなります。

3月28日(土)9時30分スキーセンター前集合、9時30分～15時ごろ

夜にミーティングを行う予定です。

29日(日)9時スキーセンター前集合、9時～12時ごろ

○内容:今年度のテーマについての検証や指導法、技術講座

関西ブロックの赤木さんが講習をしてくださいます。

○参加費は講習代として3,000円(予定)です。リフト券・宿代・交通費は各自でお支払いください。

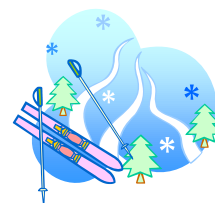
○持ち物:お持ちの方は教程書

○申し込みの際に、宿泊を「野麦の里」希望か、ご自身で手配されるかを合わせてお伝えください。

「野麦の里」宿泊は、こちらでまとめて予約します。延泊希望もご相談ください。

○1日だけの参加も可能です。

○申込期限:3月19日(木)



② 東海ブロック山スキー 4月29日(祭日) 御嶽山

8時、御嶽ロープウェイ乗り場集合

片道15分で2,000m地点へ(標高差580mのロープウェイ) 大人往復2600円

問合せ先:浅井千恵 090-5108-3402

③ 東海ブロックゴールデンウィーク野沢合宿 5月3日(日)～5日(火)

問合せ先:澤田

全国2026

全国セッター講習会4月4日5日 テストランがあります。

全国山スキー部 乗鞍大滑降

連絡先:事務局 佐藤文彦 携帯090-9199-8856

期間:5/2(土)～5/4(月) (5月3日天候不良の場合、5月4日行事实施)

宿:美鈴荘 〒390-1512 松本市安曇檜ノ木 4805-49 TEL0263-93-2330

申込締切:4月2日(木)

※詳細スケジュールと必携品は、参加者へ別途案内